



菊武学園フラッシュニュース

尾張旭市小中学校への環境学習を支援

名古屋産業大学 では、三菱 UFJ 銀行と協力し、尾張旭市の小中学校 12 校での環境学習に活用してもらおうと、CO2 濃度測定器やモバイルバッテリーなど 24 セット（1 校 2 セット）を尾張旭市に寄贈しました。

尾張旭市は、第二次環境基本計画に基づき、市内の小中学校において環境教育・環境学習を推進しており、本学の環境経営研究所と連携し、国内初の「ゼロカーボンスクール教育」のモデル都市づくりに取り組んでいます。モデル都市づくりの推進にあたっては、各校が自由に使える CO2 濃度測定器の確保が課題となっていました。本学と連携し、ゼロカーボンに取り組んでいる三菱 UFJ 銀行尾張旭支店と協力して、測定関連機器を贈ることになりました。

その贈呈式が 9 月 12 日に市役所で行われ、本学からは高木弘恵学長と伊藤雅一環境経営研究所長が出席し、柴田浩市長に目録を手渡しました。この後、伊藤所長が測定器を使って植物の光合成実験を披露したほか、室内の換気対策のサポートにも活用できるなどの機能を説明しました。高木学長は台湾の環境教育をサポートする本学の取り組みを紹介し、尾張旭市と台湾を環境教育で結びたいと展望を話しました。（柴田市長（右）に目録を贈呈）



（柴田市長（右）に目録を贈呈）



（柴田市長（右）に光合成実験を披露）

この様子は 9 月 18 日付けの中部経済新聞朝刊で紹介されました。

「全日本ボウリング王座決定戦」団体優勝

名古屋産業大学 では、ボウリング部が 8 月 30 日～31 日にアソビックスびさいにて開催された「2025 年度全日本大学・実業団ボウリング王座決定戦」（全日本学生ボウリング連合主催）において、団体（3 人チーム戦）で見事優勝を果たしました。

出場したのは、小林海翔選手（4 年生）、瀬戸翔選手（4 年生）、服部寛大選手（3 年生）のチームで、決勝トーナメントは 1 ゲームマッチのため、一投ごとの重みが非常に大きい中、選手全員が集中を切らず、チーム一丸となって戦い抜いたことが優勝という結果に結びつきました。



（団体優勝の選手 3 名）

たけのこ祭(文化祭)の校外発表を開催

菊武ビジネス専門学校 では、9 月 26 日にウィルあいち（名古屋市東区）で“3 たけのこ祭（文化祭）”の校外発表が開催されました。前半は、久遠寺ご住職の「おてらおやつクラブ」のお話や、東北ボランティアの活動報告に真剣に耳を傾け、社会への意識を深めました。後半は、前半の雰囲気が一転して、軽音楽部、合唱同好会、演劇同好会やダンス部が練習を重ねた圧巻のステージを披露しました。

客席のクラスメイトは、仲間の一所懸命な姿に引き込まれ、手拍子や拍手で会場が一つになりました。学びと発表が両立した、実り多い校外発表となりました。



（軽音学部演奏の様子）

2 学期最初の避難訓練を実施

菊武幼稚園 では、9 月 4 日に 2 学期最初の避難訓練を行いました。今回の避難訓練は「避難訓練に参加し、身の守り方や避難方法を知り、緊張感を持って行動する」「おはしもの意味を確認し、災害が起きたことを想定して行動する」「地震・火災に関心を持ち、落ち着いて避難する方法を知る」をねらいとして行いました。保育中に地震が発生した場合を想定し、園内放送とともに、園児達はまず身の安全を守るために机の下に入って、しっかり机の脚を持って頭を守る行動をすばやく行った後、火災が発生した旨の放送が流れ、担任の指示に従って園庭に避難し、人数を確認し報告する訓練を行いました。園児達はハンカチを口に当てて、走らずに静かに園庭に避難することができました。その後、司会の先生から合言葉「お・は・し・も」のお話、消防士さんから防災のお話を聞いて、実際に火をおこし、水消火器での消火作業を行いました。これからは園生活に安全・安心の環境を整えていきます。



（「おはしも」の話を聞く園児ら）

ダンス部 全国大会で見事入選果たす

菊華高等学校 では、ダンス部が今年の夏、『言葉を植えた人』をテーマとした作品で「第 37 回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）」において入選、「第 17 回 NFCC 全国ハイスクールダンスコンペティション」において見事優勝という輝かしい成績を収めました。本作品は、若松英輔氏の著書『言葉を植えた人』をもとに創作したものです。

これまでの歩みの中で受け取ってきた励ましや救いの「言葉」を種に見立て、私たち自身も誰かの心に大切な言葉を植ええられる存在になりたいという思いを込めて表現しました。

出場した部員は、他校と比べても少ない 6 名と少数でしたが、その分、作品の探究や構成、そしてチームワークに徹底的に取り組みました。「観てくださる方の心に届く作品にしたい」という願いを胸に舞台に立ち、このような結果をいただけたことは、部員一同、大きな喜びであり、励みとなりました。

本作品は、今後もさまざまな舞台で再演を予定しております。



（見事入選を果たし喜ぶダンス部員）

園芸クラブ 大きい枝豆を収穫

豊橋宮野ビジネス高等専修学校 では、1 学期から育てている大豆が少しずつ成長し、枝豆の実も大きくなってきたので収穫しました。

一つ一つ丁寧に枝豆のさやをはさみで取り落として収穫していきました。今年は、9 月に入っても厳しい暑さが続き、例年に比べて枝豆の成長はあまり良くありませんでしたが、大きな枝豆をたくさん収穫することができました。生徒達は自宅に持ち帰り、塩ゆでにしましたが、空のものもたくさんあったようで、少し残念そうな表情をしていました。生き物を育てる大変さを痛感する経験となりました。今後の活動の糧になるよう願っています。



（大きい枝豆を収穫した生徒）

OC アシスタント学生 笑顔でトーク

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 では、9 月からオープンキャンパスのアシスタント学生が 2 年生から 1 年生に引き継がれました。参加した 1 年生にとっては、自分の思いや考えを人に伝える、まさに接客の第一歩となりました。最初は緊張した様子も見られましたが、時間が経つにつれて、笑顔で楽しそうに話す姿が印象的でした。「NWFB で未来の自分に会える！」をキャッチに、施設・設備、学校生活や授業内容、資格取得など知りたいことを一緒にトークし体験することができます。

今後は来校される高校生にとって、「憧れの先輩」となれるよう、1 人ひとりが成長していくことを期待しています。



（高校生に笑顔でトークする様子）

年長児 地域のお年寄りにおもてなし

稲葉保育園 では、年長児が 9 月 24 日に地域のお年寄りの方々を保育園にお招きして、心を込めて“おもてなし”をしました。

子ども達は、一人一人丁寧にお抹茶を点て、お年寄りの方にお出ししました。最初は、緊張していた子ども達も「ありがとう」とお年寄りの方から声をかけていただくたびに、笑顔が広がっていきました。その後は、子ども達が手話を披露したり、みんなで一緒に紙芝居を見たりと楽しく過ごしました。最後には、子ども達が花道を作ってお見送りをし、「またきてね」と優しく声をかける姿がとても印象的でした。

お年寄りの皆さんの笑顔とあたたかい拍手に包まれ、子ども達にとっても心に残るひと時となりました。



（真剣に抹茶を点てる園児）



（お年寄りに優しく声をかける園児）